



Contents

- ◇ 会長室から、こんど～です
- ◇ 経営まめ知識：『余暇とは、余りの時間ではなく一番大事な時間』
- ◇ いまさら聞けない相続税の仕組みシリーズ

4

2018
Vol.173

たいせい通信のメール配信をいたします。

ご希望される方は、下記のメールアドレスに、件名を【たいせい通信メール配信希望】とし、お名前、会社名、電話番号を明記の上、送信ください。

info@taiseikeiei.co.jp



大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆(株)大成経営開発・・・財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)大成財産コンサルタンツ・・・相続相談・終活相談・資金調達運用
会社売買・生命保険損害保険 <http://www.fzc-souzoku.com>
(九州相続センター) 不動産・営業支援代理店業
- ◆(株)アップワード エスト保険・・・生命保険、損害保険 <http://www14.ocn.ne.jp/~esthoken>
- ◆(株)大成アフェクション・・・居宅介護支援、通所介護事業
- ◆(株)大成グローバルトレーディング・・・商社、貿易業務 <http://www.taisei-gt.co.jp>

■大成経営総合事務所

清永税理士事務所・飛石税理士事務所・徳留税理士事務所・浦野税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・竹馬社会保険労務士事務所・社会保険労務士あきおか事務所・おかもと社会保険労務士事務所・いしはら社会保険労務士事務所・的場土地家屋調査士事務所・行政書士法人エド・ヴォン

(株)大成経営開発 統括室発行 Tel : 096-377-1101 Fax : 096-377-1114

会長室から、こんど~です

桜の花の季節、入学式も終わり小、中、高から大学生、専門学校生とそれぞれに新生活がスタートしました。今月は、教育費について書いてみます。

日本は教育費のかかりすぎて、たくさんの子供を持つことが出来ないとよく聞きますが、最近気になった記事は**奨学金**です。（国立大学の授業料は年間53万過去から比べるとかなり上がっています。私立大学年間100万を超える所はたくさんあります。専門学校も私立大と変わりません）

皆さんご存知と思いますが、国内の大学・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）および大学院で学ぶ人を対象とした奨学金には、**利息の付かない第一種奨学金**と、**利息の付く第二種奨学金**があります。これらとあわせて入学時の一時金として貸与する**入学時特別増額貸与奨学金（利息付）**があります。

（利息はつかなくても元金は返済しなければなりません）

家庭の事情で勉強したいがお金がないと言う人にお金を援助してくれる制度です。

第一種 ⇒特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な人に貸与します。無利息ですが卒業してから毎月定額で返済するか、前年の所得によって返済額が決まる方式もあります。

第二種 ⇒第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された人に貸与しますが、年3%を上限とする貸付利息が付きます。（在学中は無利息です）

その他海外留学のためとか、入学時特別増額などがあります。が、学校を卒業してから返済しなければなりません。うまく就職できれば、毎月きちんと順調に返済できると思いますが、もしどこかで躓いたならば、この返済は大きくのしかかって来ます。しかもかなり長い期間です。

現在学生時代の奨学金の返済ができずに破産する人が急増していると聞きました。学生支援機構の発表によれば**奨学金の受給者は130万人、その中で3ヶ月以上延滞している人は16万人、奨学金に絡む自己破産者は保証人（保証人は両親、兄弟、親戚）も含めると1万5千人を超えています。**

有名大学に入ればいい会社に就職でき、将来安泰だからすぐに返せると言った安易な考え方が、そもそも間違いのもとです。**奨学金は車や住宅のローンと同じように考え慎重に借りなければいけません。**

子供が生まれたその時から将来を考え、学資保険などを掛けて、一番お金のかかる大学入学の時に祝い金を受け取る、などと準備しておかないと奨学金を借りても子供が払えなければ、結局親が返済することになります。年をとってからの返済は負担が大きくなります。計画的に教育資金を準備しましょう。

一番は日本の国の教育費が安くなり、この先国を背負ってゆく子どもたちが自由に勉強ができる様になることを祈るばかりです。

ありがとうございます。



(株)大成経営開発会長 近藤記

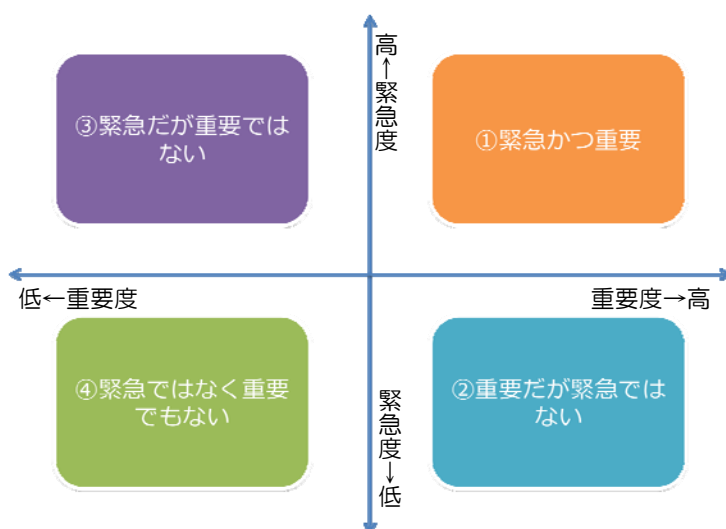
経営まめ知識：『余暇とは、余りの時間ではなく一番大事な時間』

みなさま如何お過ごしでしょうか？弊社も1年に1回の**決算報告会**と**確定申告慰労会**も終わり新年度に突入しました。心機一転の時期・・・今日は、『**余暇とは、余りの時間ではなく一番大事な時間**』とい事について、お話をさせて頂きたいと思います。

この言葉は、名言だと思います。**人生とは、生まれてから死ぬまでの連続的な戻ることのない無情な時間**です。人生において時間を支配するという事は、自己を支配するという事になります。そして余暇とは、何なのかと考えた時に『**その人の人生を決めてしまう時間**』ではないかとさえ思えます。

何故なのか？人間は、平均的に**8時間の睡眠**が必要です。また仕事をしている人は、平均的に**8時間は仕事**しています。すると**残りの8時間が、余暇**という事になります。

時間の使い方を考えた時にでてくる問題が、**重要度**と**緊急度**の『**時間のマトリックス**』です。これは生きていくうえで、また仕事をする時の**時間の使い方**です。



この時間のマトリックスで一番大事なことは、**①重要であるが緊急性、ないものを中心に生きていくという事**です。これが**余暇の時間に匹敵**します。そして日常業務は、**②重要で緊急性があるもので優先順位を付けながら生きていくという事**です。**③緊急だが重要でないものは、シャットアウトするか④行わないという事**です。

問題は、**重要ではあるが緊急性がない余暇の8時間の使い方**です。お休みや一人の時間の使い方です。この使い方**人間の幸不幸は、決まるのではないかと**さえ思えます。

家族との時間、友達との時間、食事の時間、趣味の時間、移動の時間、勉強の時間・視察の時間など、どうかすると仕事もしている人もいるでしょう！！

ただ漠然と生きるのではなく、**自己の価値観に基づいて主体的に能動的に、一人の時間の使い方を再考してみてください。**

最後になりましたが、桜が綺麗ですね！！この時期は、自然と正気と英気が湧いてきます。来月は、私の誕生月で5月です！！ワクワクしますね！！みなさまの素晴らしい人生と益々のご活躍を祈念いたします！！



(創業の地：熊本県八代事務所より)



会議長ブログ：自由人石本の毘沙門天世界放浪記
毎日更新しています！是非読んでください！
<http://www.taisei-gt.co.jp/blog/>



いまさら聞けない相続税の仕組シリーズ

「パート収入の壁」

平成30年から適用の税制改正により配偶者控除が変わります。

奥さんのパート収入を103万円以内にと今まで調整されていた方も少なくないと思いますが、**その103万円の壁が150万円に変わるという税制改正です。**これを機にパートの時間を増やそうとお考えの方も多いのではないのでしょうか。また、質問をされた事務の方も多いのではないのでしょうか。

今回のたいせい通信では、パート収入の「**税金上の壁**」についてお話したいと思います。

□150万円の壁

配偶者控除を受けられる妻の年収の上限が103万円以下のため、「**103万円の壁**」と呼ばれていました。平成30年から、壁が103万円から150万円に引き上げられました。夫の年収が1,120万円以下(合計所得金額が900万円以下)の場合、150万円以下なら38万円の配偶者控除が受けられます。しかし、150万円を超えても年収約201万円までは自動的に減少しますが、配偶者特別控除は受けられません。

□社会保険の壁

パート収入を増やすと今度は社会保険料を支払う必要が出来ます。中小企業でパートをしている場合は年収130万円「**130万円の壁**」を超えたときで、大企業の場合は年収106万円「**106万円の壁**」を超えたときです。この「**130万円の壁**」と「**106万円の壁**」の改正はありません。「130万円の壁」及び「106万円の壁」を超えた場合勤務先で社会保険加入、自分で国民健康保険や国民年金に加入し全額負担しなければなりません。では、130万円を超えている場合は勤務先で社会保険に加入している場合は年収を155万円程度まで年収を上げる。自分で国民健康保険や国民年金に加入する場合は171万円以上まで年収を上げる。ことで働き損を回避できます。

また、会社から支給される「**家族手当の壁**」にもご注意ください。

このように、パートする上で超えるべき「**壁**」は、いくつもありそれぞれの家庭事情がある事からとても悩ましい問題です。ぜひこの機会にご検討してみても如何でしょうか。



岡村 泰



編集後記：まさに春といった気候になってまいりました。ほかほか陽気で、心が弾むような春の光景に移り変わってきました。4月という一番に思いつくのは、お花見ですね。お花見は楽しいものですが、桜が満開になる時期になると、なぜか急に寒くなったりしますよね。この寒さのことを「花冷え」といいます。せっかくのお花見で体調を崩してはもったいないです。皆様どうぞご自愛ください。